

Topics

- JD 育成塾開講
「三重ジュニアドクター育成塾」スタート
- 教員の声
後藤 太一郎先生

- メンターのコーナー
エリアA 三重大学メンター 崎山琢人さん
- お知らせ
科学の祭典

JD 育成塾 開講

■ 「三重ジュニアドクター育成塾」スタート ■



「ジュニアドクター (JD) 育成塾」は、科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、理数・情報分野の学習を通じて、高い意欲や突出した能力を有する全国の小学5・6年生および中学生を対象に、大学等が特別な教育プログラムを提供し、その能力等の更なる伸張を図る事業です。本県においても、今年度より、三重大学が中心となり、県下の4エリアで始まりました。(エリアA;三重大学、エリアB;伊賀サテライト、エリアC;東紀州サテライト、エリアD;伊勢志摩サテライト)

JD 育成塾のプログラムは、第1段階として県下より科学研究に強い関心をと高い潜在能力を有する小中学生をJD 講座生として40名募集し、観察実験に関する講座やプレゼンテーション技能の育成に関する講座等を行い、受講生が自らの関心の方向に気付くともに基礎的な知識技能を習得する内容です。また、第一段階を習得した受講生の中から、次年度10名程度の高い才能を有する受講生を選抜し、高度な能力をはぐむ教育を行うことによって、「科学甲子園ジュニア」

「学生科学賞」に挑戦をいいてこうとしています。

7月28日には、三重県内連携機関・協力機関と応募選考を受けて選ばれた小中学生とその保護者が集まり「三重 JD 育成塾」の開講式が行われ、夏休み期間を活用してさまざまなプログラムが始まりました。三重県は南北・東西に広い地域を持つことから、まず4地域(エリアA～エリアD)に分けて受講生の便宜を図りながら実施されることとなりますが、開講式はエリアをテレビ会議システムで結んで実施されました。今後もテレビ会議方式は積極的に利用されることになるとでしょう。

開校式においては、三重大学



学長駒田美弘先生、三重県教育委員会野口宏志課長よりJD 事業に対する期待のあいさつの後、受講生代表として山本明日香さんが気象予測の進歩を例に「科学・技術の未来は若い世代にゆだねられているので、頑張りたい」という抱負を述べました。



実際の講義は7月28日、29日にエリアD(皇學館大学)の中松豊先生の「昆虫の体のしくみ」「昆虫の免疫のしくみ」を皮切りに、探究活動講座と実験観察講座が始まりました。寄生蜂の幼虫や研究を観察しました。



エリアA(三重大学本学)では8月4日に観察実験講座①として、松本金矢先生が、運動エネルギーを熱エネルギーに変換する実験を通してエネルギーの性質を学ぶ講義が行われました。受講生は、熱運動として拡散してしまうと元に戻せないことなどを体験的に学習した。

次号以降各エリアの様子を報告する予定です。



teacher's voice

教員の声

〔三重ジュニアドクター育成塾〕への期待

今回は…

三重大学教育学部
理科教育講座

後藤 太一郎先生



三重ジュニアドクター育成塾実施責任者の後藤です。「ジュニアドクター育成塾」は科学技術振興機構（JST）による2017年からの新規事業で、三重大学でも本年度採択されました。この事業は、三重大学をはじめ、三重県教育委員会、県内の高等教育機関、および市町教育委員会の皆様のご理解とご協力を得たことで実施できるものであり、ここに深くお礼申し上げます。

4月27日に採択通知を受けてから、7月中には開始する計画を立て、直ちに準備を進めました。県内4箇所を会場として行うのは三重県独自の企画であり、各地区の担当の先生の多大なご尽力により開設講座が設定されました。

6月7日にHP開設と募集案内を行うなど、約1ヶ月で準備できたこと、そして、7月28日に開講式を迎えることができたのは、関係者の皆様のおかげです。特に、この事務や広報を担当して下さる事務の村田 まゆさんと織田 真衣さんの献身的な努力なしには成しえません。

科学実験や観察の好きな小・中学生40名が集

まり、講座では熱心に取り組んでいます。全員が主体的に学ぶ姿は、メンターとなる大学生にも大きな刺激となっています。受講生の科学に対する興味を広げるよう最大限の努力をしますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



エリアA プレゼンテーション講座①

—研究成果のまとめ方—

メンターのコーナー



エリアA 三重大学メンター 崎山 琢人さん

「君はただ目で見るだけで、観察ということをしな。見るのと観察するのでは大間違いなんだ。」

私は三重ジュニアドクターメンターの崎山琢人です。私は最近コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズを読んでいます。シャーロック・ホームズは、類まれなる観察眼を基に難事件を解決する、世界一の探偵です。上に書かせていただいた言葉は、シャーロック・ホームズが『ボヘミアの醜聞』という話の中で、彼の相棒であるワトスン博士に言った言葉です。私が小学生の頃の話になりますが、授業で先生から「アリの絵を描きましょう」と言われました。その時に書いたアリの絵では、足が頭部から2本、胸部から2本、腹部から2本生えていました。私は小学生ながら、アリの十萬四は見てきたと思いますが、実際にアリの絵は描けなかったのです。シャーロックに私の書いたアリの絵を見せたら、ワトスンがかけられた言葉と同じ言葉をかけられるでしょう。

観察は、理科において重要な行為です。じっと、観察物のありのままを観ることが重要なのです。私は三重ジュニアドクターのメンターとして、子どもたちと観察をし、共に観察の重要性を勉強していきたいと思っています。



教育学研究科 崎山 琢人さん

お知らせ

「青少年のための科学の祭典」第20回三重大会開催日程

■三重大学大会 三重大学（講堂）にて開催

平成30年11月3日（土）13:00-17:00、4日（日）10:00-16:00

■亀山大会 亀山市青少年研修センターにて開催

平成30年11月10日（土）10:00-16:00

■紀北大会 紀北教育会館にて開催

平成30年11月10日（土）10:00-15:00

■名張大会 名張市教育センターにて開催

平成30年10月27日（土）10:00-15:00

※詳細については三重ジュニアドクター育成塾HPに掲載